

8月8日に「であい、まなぶ 建設業者交流会」開かれる

「いろんな話が聞けて良かった」春日井からは6名参加

春日井民商だより

春日井市ことぶき町一八三
☎八一一一四八二
FAX 八一一九七五六



8月8日(土)に愛青協主催で「であい、まなぶ 建設業者交流会」が金山の労働会館で開かれました。建設業をしている青年たちがあつまり19名(春日井からは6名)が参加。まずは、昭天瑞民商の会長でもある榎原さんから先輩業者としてのノウハウ等のお話が。

笑いあり時には真剣に皆さん話を聞いていました。

その後、自己紹介などがあり軽食をとりながらの交流タイム。名刺交換や、仕事の内容などを話し合いにぎやかな時間が過ぎていきました。

参加した方からは、「いろんな話が聞けて良かった。一口で建設業と言ってもまだまだ知らない業種などもあって参加してよかった。」「榎原さんとの話も楽しかった」との感想も出されていました。



原水爆禁止2026世界大会に参加して

春日井民商理事 伊藤政雄

八月四日 開会総会

ヨーロッパ、台湾、中国、ベトナム、アメリカ、フィリピンの国から参加あり、日本全国からも、沢山来て居て、平和の関心の高さが良くわかりました。民商の掲げる、「平和でこそ商



八月六日 ヒロシマデー集会・開会総会

閉会式は、リモート合わせて4,000人の参加でした。沢山の話を聞きましたが、一番印象に残った話を紹介します。5歳で被爆して、今は被爆の語り手、原爆資料館のボランティア説明員をし

ている方の話です。アメリカ兵が、資料館に来たそうです。アメリカ兵は、アメリカの勝利を称えた資料があると思いい見たら、びっくりして、アメリカは日本にこんな酷い事したのだとわかり、資料館出て泣き崩れたそうです。アメリカの教育では、日本に戦争を辞めさせるために原爆を落としたと習います。原爆落とさなかったら、もっとアメリカの国民が亡くなったと教育されています。

八月五日 フォーラム・分科会

分科会5の「被爆者の声を聞く」に参加。原爆が落ちた瞬間の生々しい話を聞きまし。被爆者の9歳の娘さんはお父さんを探すために、お母さんと2人で一週間、死体の山を一体一体あお向けにして確認したとか、腐敗の匂いがたまらなく、川に死体が流れていて、潮のまちひきで死体が来たり、なくなったりするけど、戻って来る遺体があり、少しずつなくなっていくという話を、聞いた時は、本当に地獄絵図みたいだったと思いました。

日本人はそのままにしないで、懸命に片付けて復興を、凄いスピードで進めたそうです。その片付けした人も、被爆により次々と亡くなっていったようです。凄い話です。この話は聞いただけで終わりではなくて、語り続ける事が大切だとつくづく思いました。

アメリカ兵が、資料館に来たそうです。アメリカ兵は、アメリカの勝利を称えた資料があると思いい見たら、びっくりして、アメリカは日本にこんな酷い事したのだとわかり、資料館出て泣き崩れたそうです。アメリカの教育では、日本に戦争を辞めさせるために原爆を落としたと習います。原爆落とさなかったら、もっとアメリカの国民が亡くなったと教育されています。



愛商連の代表

アメリカ人は、広島に来て本当の原爆の事がわかります。その真実を知り、母国に帰り広めてくれます。去年は外国人95万人の来館あったみたいで。このように、被災者の話、資料館の話を広めて、戦争のない平和な未来を願っていききたいと思いました。

今年の民商まつりは 十一月八日(日)に 開催します

まつり成功のために皆さんのご協力をお願いいたします。十一月八日(日)は今から予定を空けておきましょう。

毎年好評の
小豆島ソーメン
残りわずかです!

物価高でも
値段据え置き
1.8キロ入
2,500円



毎月15日までの会費集金にご協力をお願いします 会計 山崎孝亀